区政をきく (一般質問)

令和元年第3回定例会では、区政全般について、
10名の議員が一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。

一般質問

あべ 祐美子 議員 (無所属)	中塚 亮 議員 (共産)	西村 直子 議員 (自民)	大倉 たかひろ 議員 (自・無)	あくつ 広王 議員 (公明)	9月20日(金)	筒井 ようすけ 議員 (品改)	大沢 真一 議員 (自・無)	安藤 たい作 議員 (共産)	新妻 さえ子 議員 (公明)	鈴木 真澄 議員 (自民)	9月19日(木)
-----------------------	--------------------	---------------------	------------------------	----------------------	----------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------

会派名は次の略語で記載しています。

自・無……自民・無所属・子ども未来 自民……品川区議会自民党
公明……品川区議会公明党 共産……日本共産党品川区議団
品改……品川改革連合 ネット……品川・生活者ネットワーク

一般質問とは

議員が、区の行政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関
に対して行う質問です。各定例会で行われます。

【議員提出第7号議案】

品川上空を飛行する羽田新飛行ルート計画決定に関する決議

品川区議会では、本年3月26日の定例会本会議において、「品川上空を飛行する羽田新飛行ルート計画に関する決議」を全会一致で可決し、現計画の再考を強く求めている。

品川区は、7月30日に開催された関係区市連絡会で、区民の不安の声と品川区議会の全会一致の決議を踏まえ、落下物対策、騒音環境軽減に向けた更なる取り組みと、区民への丁寧な説明、周知の継続実施、また、現飛行ルート案を固定化することがないよう取り組むことを強く求めた。国からは、「飛行ルートのあり方については、騒音軽減等の観点から継続的に検討して参りたい」との回答があった。

国土交通大臣は、8月8日、羽田新飛行ルート計画の正式決定に関する発表を行った。その際、大臣は、「いただいた御意見・御要望をしっかりと受け止め、丁寧に対応する旨回答いたしました」と発言した。

品川区議会は国土交通省に対し、区民の不安払しょくにつながる効果的な対策の実施と、早急かつ具体的にルートの再考および固定化を避ける取り組みを示し、実行に移すことを強く求める。

以上、決議する。

令和元年9月20日

品川区議会

【議員提出第8号議案】

固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

内閣府による令和元年9月公表の月例経済報告において、「景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。」とされたものの、区内の小規模事業者の経営状況が十分に改善していると言え難く、景気回復の実感は薄い。

このような状況の中で、東京都が実施している「小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置」「小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置」及び「商業地等における固定資産税・都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置」は、厳しい経営環境下に置かれている小規模事業者にとっても、事業の継続や経営の健全化への大きな支えとなっている。

東京都がこれらの軽減措置を廃止すれば、小規模事業者の経済的・心理的負担は極めて大きく、回復基調にある景気に与える影響が強く危惧される。

よって、品川区議会は東京都に対し、下記の事項について強く要望するものである。

記

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を令和2年度以降も継続すること
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を令和2年度以降も継続すること
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を令和2年度以降も継続すること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和元年10月23日

品川区議会議長 渡辺 裕一

東京都知事 小池 百合子 様